

# 指定管理者制度継続の検証について

「ゆらぎの森」



「別子観光センター」



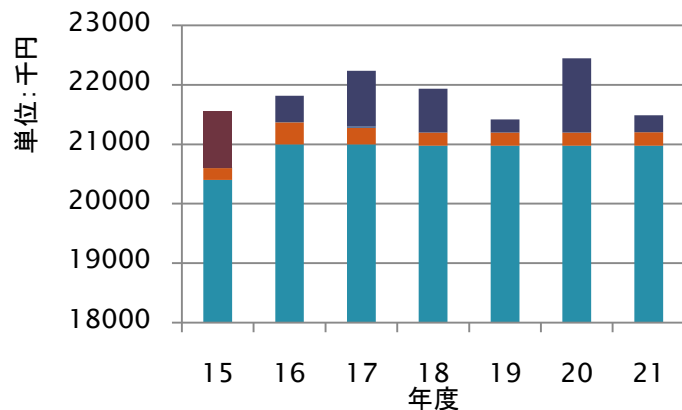
平成22年7月1日(火)  
経済部運輸観光課

# 1 指定管理者制度継続の効果

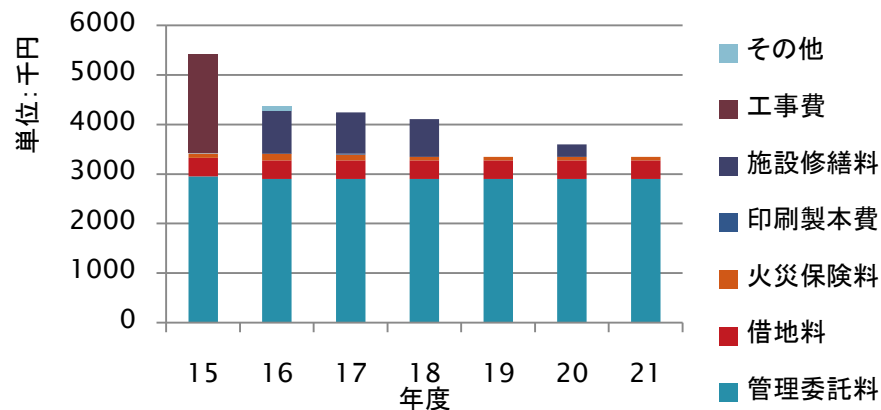
- ◆ 目的 (1)経費の削減
- (2)利用者の拡大
- (3)サービスの向上

## (1)①経費(施設管理経費)の削減

### ゆらぎの森



### 別子観光センター



年度	15	16	17	18	19	20	21
ゆらぎの森	21,557,961	21,817,654	2,234,756	21,937,856	21,419,156	22,446,170	21,486,870
別子観光センター	5,413,779	4,373,549	4,242,196	4,105,836	3,343,116	3,597,564	3,347,634
計	26,971,740	26,191,203	26,476,952	26,043,692	24,762,272	26,043,734	24,834,504



老朽化や緊急を要する修繕等の多少により、ばらつきはあるものの、削減の効果は見られる。

⇒(施設コスト表)

## (1)②指定管理による人件費削減効果

### 市直営による人件費試算

	悠楽技 職名	市相当職	人数	給料等	計
別子観光センター	管理責任者	課長	1	9,007,994	9,007,994
	主任	主任	1	5,891,130	5,891,130
	臨時職員	臨時職員	1	2,121,790	2,121,790
ゆらぎの森	管理責任者	課長	1	9,007,994	9,007,994
	工房長	係長	1	7,776,159	7,776,159
	主任	主任	2	5,891,130	11,782,260
	臨時職員	臨時職員	2	2,121,790	4,243,580
市直営人件費計(イ)					49,830,907

### (有)悠楽技 平成21年度決算

科目	金額
給与手当	16,594,175
退職共済掛金	324,000
雑給	12,305,990
法定福利費	2,174,541
福利厚生費	84,268
<b>(有)悠楽技人件費計(ア)</b>	<b>31,482,974</b>

### 人件費削減効果

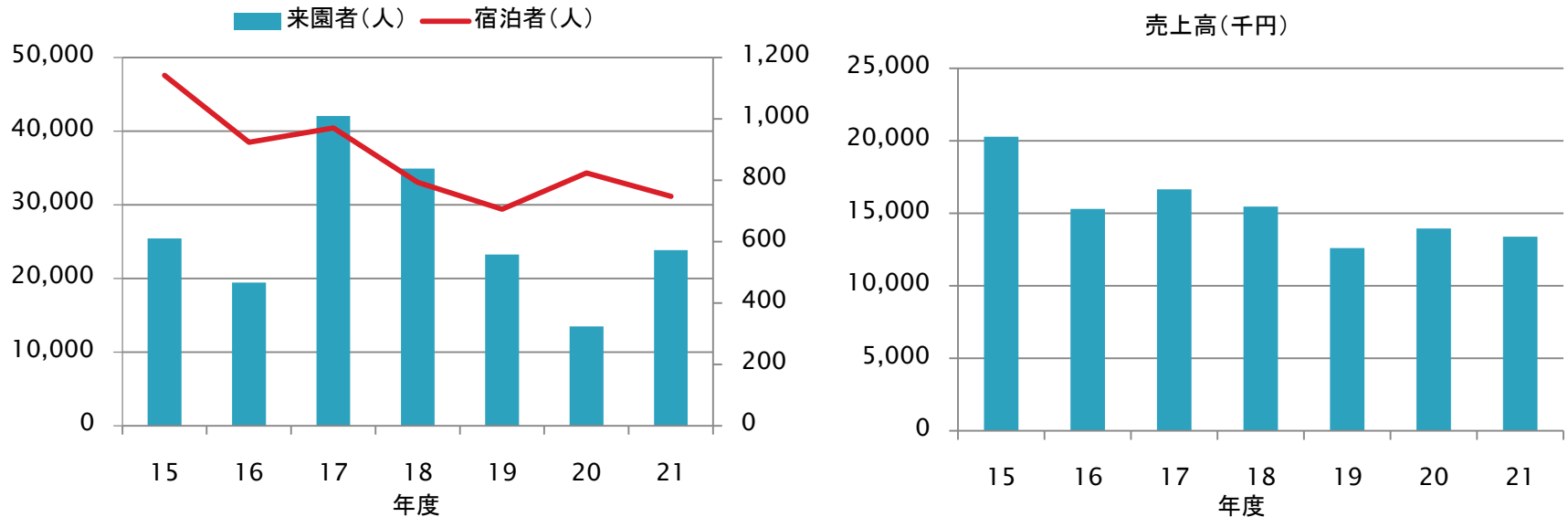
比較	(有)悠楽技(ア)	市直営(イ)	削減効果(ア-イ)
	31,482,974	49,830,907	△18,347,933



指定管理により約1,800万円の人件費削減効果

## (2) 利用者の拡大

### ◆ ゆらぎの森



年度	15	16	17	18	19	20	21
来園者(人)	25,425	19,418	42,063	34,899	23,242	13,470	23,830
宿泊者(人)	1,142	923	970	793	705	823	747
売上高(円)	20,278,683	15,299,445	16,652,671	15,479,497	12,611,830	13,955,815	13,396,835

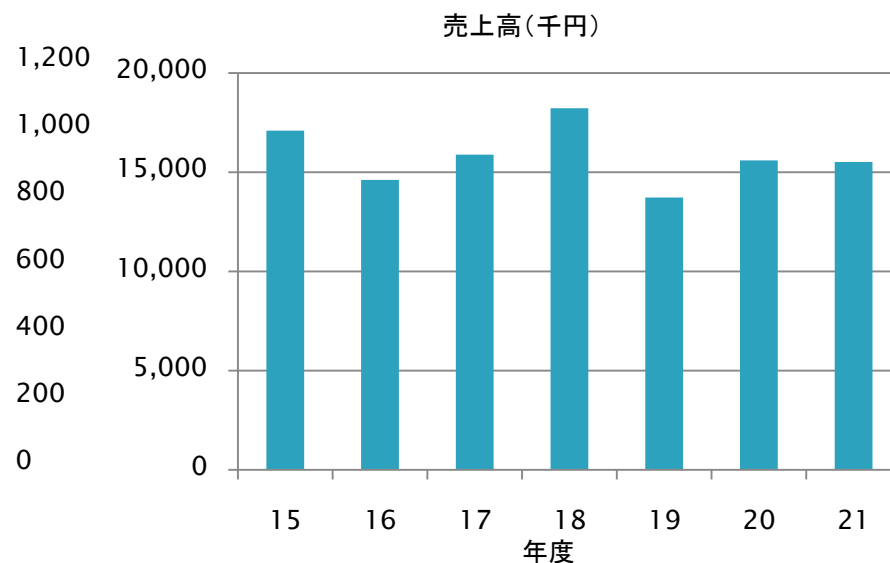
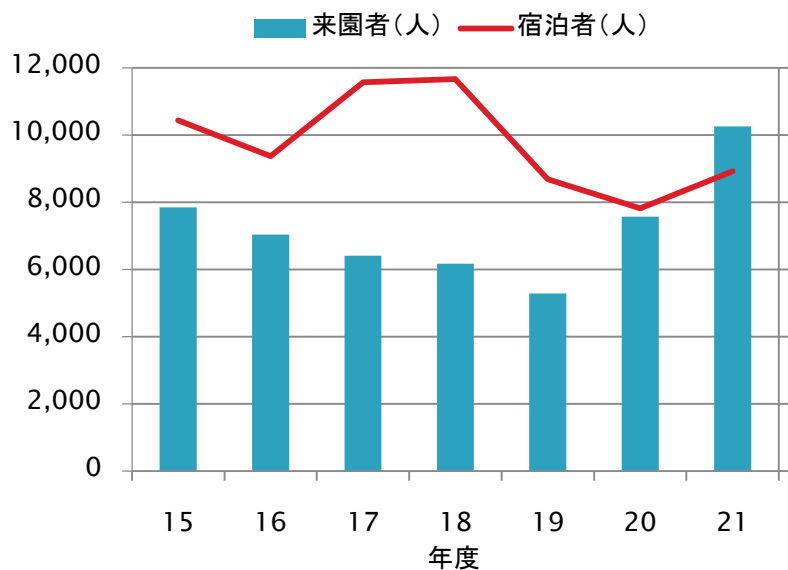


※ 売上高については、山草園を除く。

※H20はパーゴラの藤の生育不良による来場者の減

**来園者は増加に転じたものの、宿泊者、売上高ともに減少傾向。入込み増の取り組みが課題。**

## ◆別子観光センター



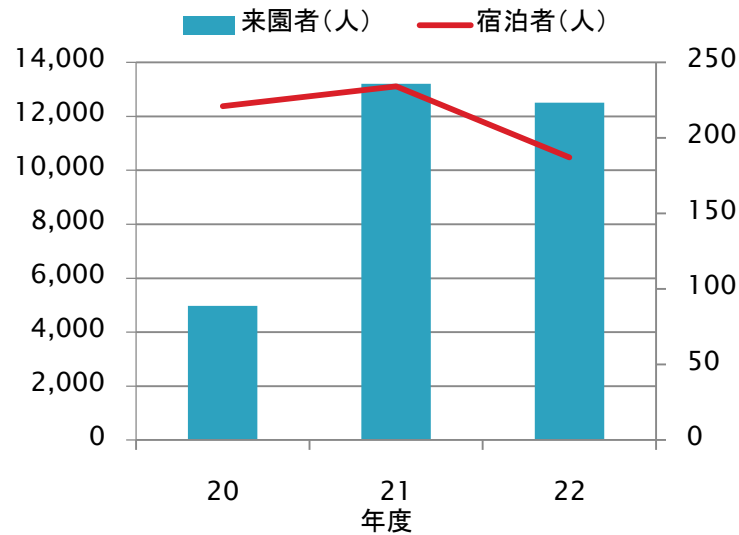
年度	15	16	17	18	19	20	21
来園者(人)	7,850	7,040	6,405	6,165	5,283	7,570	10,252
宿泊者(人)	1,044	937	1,157	1,167	868	782	892
売上高(円)	17,091,763	14,610,895	15,882,194	18,211,454	13,718,844	15,582,070	15,515,630



利用者は増加傾向、売上は横ばいとなっている。

# 参考:4月～5月入込み客の比較

## ◆ゆらぎの森

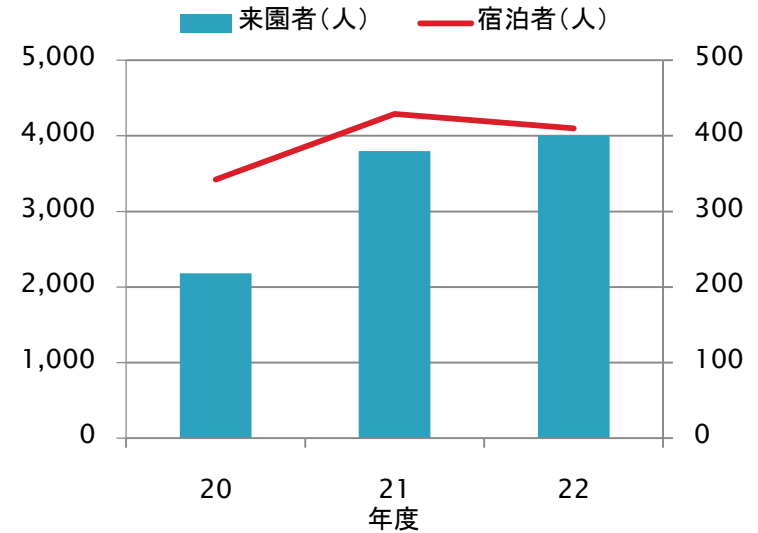


### ゆらぎの森

年度	20	21	22
来園者(人)	4,970	13,200	12,500
宿泊者(人)	221	234	187

H21:23,380人(宿747人)  
H20:13,470人(宿823人)

## ◆別子観光センター



### 別子観光センター

年度	20	21	22
来園者(人)	2,180	3,800	4,000
宿泊者(人)	342	429	410

H21:10,252人(宿892人)  
H20: 7,570人(宿782人)

### (3) サービスの向上

- ◆見所を生かした事業の内容を見直し  
(四季折々の花を生かしたイベントなど)
- ◆地域の特性を生かした新たなイベント事業の実施  
(冬まつり、雪そり遊び)
- ◆来園者への接客対応について改善を実施
- ◆指定期間中に施設内での事故・事件の発生なし



魅力あるイベントの企画・事業実施をはじめ、適切な施設管理がなされている。

来園者に対するホスピタリティの向上に、引き続き取り組んでいる。

# イベント開催状況

- ▶ 月 主催 < イベント名 >
- ▶ 4月 ゆらぎ カタクリの花鑑賞会と花ずみ作りの体験会
- ▶ 筏 津 筏津山荘さくら祭り
- ▶ ゆらぎ 春のしいたけ狩り
- 5月 ゆらぎ ゆらぎの森巨大パーゴラ藤祭り
- 筏 津 筏津山荘山菜まつり
- 6月 筏 津 親子魚つかみ
- 7月 筏 津 筏津山荘キレンゲショウマ鑑賞と俳句募集
- ゆらぎ アジサイ祭り
- 筏 津 筏津山荘そうめん流し
- 8月 ゆらぎ カブトムシ取りとキレンゲショウマ・レンゲショウマ鑑賞会
- 筏 津 筏津山荘清流そうめん流し
- 9月 筏 津 筏津山荘いもだき
- ゆらぎ ダイモンジソウ祭りと華すみ体験
- 10月 ゆらぎ 秋のしいたけ狩り 筏津 筏津山荘秋のきのこ祭り
- 11月 ゆらぎ 紅葉祭りと産業文化祭 筏津 筏津山荘秋の収穫祭
- 12月 ゆらぎ 柚子湯に入ってシシ汁を食べよう 1月 ゆらぎ 初湯会
- 1月 筏 津 冬まつり
- 2月 ゆらぎ 雪そり遊び体験会
- 3月 筏 津 ふきのとうまつり
- 通年 ゆらぎ ゆらぎの森で別子山を学んで、別子銅山の遺構が残る別子古道を登山する会



## 2 指定管理者制度導入の成果と課題

### (1) 成果まとめ

- ◆ 「管理経費の削減」 ⇒ 直営と比較し、成果あり
- ◆ 「利用者の拡大」 ⇒ 課題はあるものの、一定の成果あり
- ◆ 「サービスの向上」 ⇒ 一定の成果あり。取り組みを進める。

### (2) 指定管理者制度の継続

別子観光センター利用者は増加傾向であるが、ゆらぎの森は減少傾向にある。しかし、市直営とすれば、宿泊・飲食業務という専門的技術や経験の不足から円滑な業務遂行に支障をきたす恐れがあり、また、人件費等の経費増加が想定されるため、指定管理者制度の継続による管理が適当。

### (3) 課題

利用者収入の増加と効果的な集客策の実施を図るとともに、管理主体の強化・見直しが必要である。

### 3 今後の方向性

#### (1) 施設の性格

両施設は、別子山地区内での雇用確保、過疎対策として設置され、その管理運営を(有)悠楽技が行うことを前提としている。

#### (2) 管理主体の状況

指定管理者である(有)悠楽技は、会社設立以来、赤字決算が続いていたが、経営改善により平成20年度から単年度黒字に転換している。

#### (3) 今後の対応

(有)悠楽技の経営改善効果が徐々に現れているが、今後の状態によっては、会社存続是非の判断と、両施設の管理を他者に委ねる必要が生じる。新市建設計画で予定されている筏津山草改築事業実施の判断も必要であるが、別子山地域の人口減少による地域コミュニティの弱体化が懸念されている状況を踏まえ、会社のあり方として、地域コミュニティ強化につなげるため、組織の再生を検討する予定である。

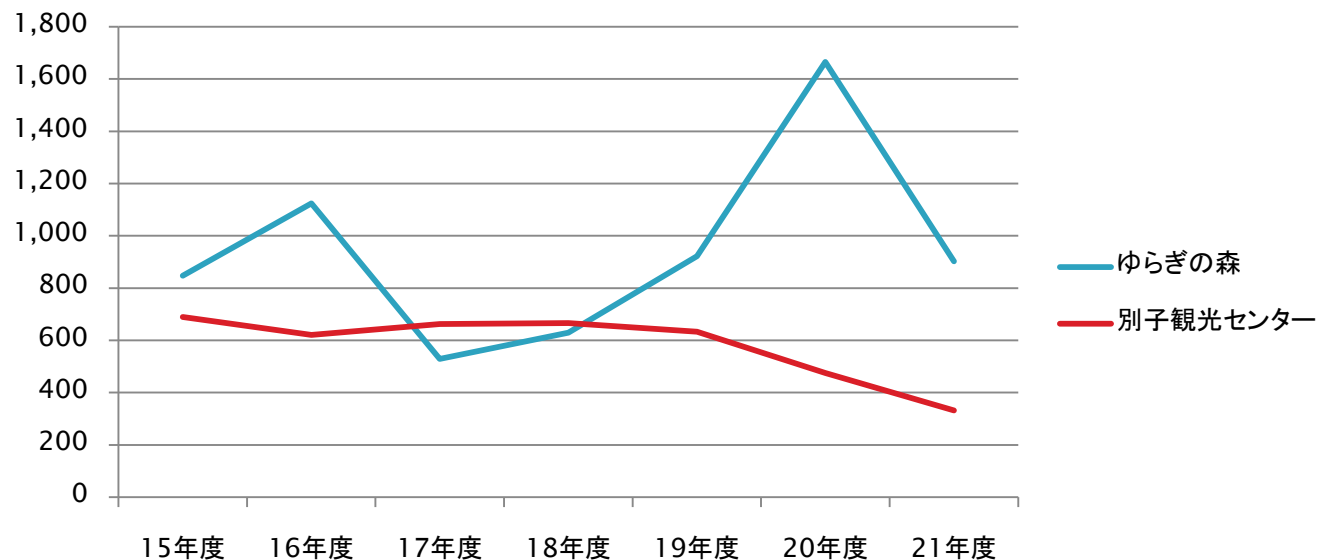


別子山地域の再生に資する新しい組織の方針が決定し、運営が軌道に乗るまでは、現行の(有)悠楽技による管理運営が前提になるものと判断し、その期間の目途として、2年間を予定している。

よって、今回の指定管理期間は引き続き平成23年度～平成24年度の2年間とする。

# 参考：施設利用者コスト 来園者一人当たりの市の経費負担

(単位：円)



	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
ゆらぎの森	848	1,124	529	629	922	1,666	902
別子観光センター	690	621	662	666	633	475	332

